



海外生活 エッセー

北京事務所

中国で高まるサッカー(足球)人気

(一財)自治体国際化協会北京事務所 所長補佐 柿村 健太郎 (福岡県派遣)

北京で地下鉄に乗ると、車内のテレビでよくサッカーの試合が放映されています。また、駅構内のモニターでは、日本の有名な漫画「キャプテン翼」のアニメが放映されているのを見かけたことがあります。中国で人気のあるスポーツと言えばバスケットボールや卓球などが挙げられますが、ここ数年、中国でもサッカー人気が高まりつつあります。

→ 国家としてサッカーの発展に注力

サッカー人気の背景には、国家としてサッカーの発展に力を注いでいることが挙げられます。中国政府は、2015年に「中国サッカー改革発展総合プラン」を発表しました。このプランにおいて、男子ナショナルチームをアジアのトップクラス入りさせることや、中国にワールドカップ大会を誘致することなどの目標が立てられました。また、サッカー人口を増やすため、各地の小中学校でサッカーを体育の科目に取り入れ、サッカーを実施する小中学校を2015年時点での5,000校余りから、20年に2万校、25年には5万校に増やすこと、サッカー競技場の大量建設などのさまざまなプランも立てられています。これほどのサッカーへの力の入れようは、習近平国家主席がサッカーファンであることが大きな理由のようです。

また、中国のプロサッカーリーグも、各クラブチームの親会社が経済成長を背景とした潤沢な資金を投下して、海外から多くのスター選手を獲得しています。数十億円もの移籍金を支払って選手を獲得し、選手に支払う年俸も世界トップ10のうち5



北京に本拠地を構えるプロチームの試合観戦

人が中国リーグ所属の選手となっているなど、近年注目を集めています。外国人選手の獲得については、あまりの過熱ぶりから今では一定の規制がされるようになりましたが、その様子は、数年前に流行した訪日中国人観光客の消費行動になぞらえて「爆買い」と言われるほどでした。

そのような中国でのサッカー人気の高まりは、欧州の強豪チームからも注目されており、オフシーズンの興行試合を中国で開催するチームも増えています。私も昨年の夏に北京で開催されたイングランドの強豪チーム同士の試合を観戦しましたが、中国国内リーグ戦と比べても観客数が非常に多く、圧倒的な盛り上がりを見せており、中国での欧州サッカーの人気の高さを感じました。

→ 国際交流のきっかけとして

北京にはサッカーのアマチュア国際リーグがあり、中国、日本、欧米、アフリカなどさまざまな地域のチームと試合をすることができ、私も何度か試合に出たことがあります。友人を作るにはスポーツをするといいてよく言われますが、スポーツであれば言葉が通じなくても外国人と一緒に楽しめることを実感しました。

日本の地方自治体でも外国の友好都市との間でサッカー大会などを通じた青少年交流事業が行われているように、世界的に競技人口の多いサッカーは国際交流のツールとしても非常に魅力的なスポーツだと思います。今後、サッカーを通じた日中の青少年交流が増えることを期待し、中国サッカーの発展に注目していきたいと思います。



フランスのチームとの試合に参加